

事業報告

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

1. 医療・看護・介護関係者における国際協力の必要性についての普及啓発活動

日本及びアジアにおける医療現場の実態と問題点、国際医療連携の現状などについての理解を深めることをテーマとした講演会を開催し、医療・看護・介護の分野における国際協力の必要性についての理解を促進する。

令和7年度は、以下の要領にて、インドネシアにおいて講演会を実施した。

【実施概要】

a. 講演会：高齢者ケアの最前線～転倒防止と認知症ケアに学ぶ～（R7.5/26）

主催：当法人

会場：国立ハサヌディン大学 講堂（インドネシア国）

演題：①認知症患者への効果的なコミュニケーション技法

②高齢者に対する転倒予防・骨折予防を目的とした運動療法

講師：①熊澤和秀（看護師）

②森山善文（運動療法士）

参加者数：150名程度

言語：日本語（インドネシア語の通訳あり）

b. 講演会：高齢者における認知症予防と筋力向上のための学術的戦略（R7.8/2）

主催：当法人

会場：私立ムハンマディア大学 講堂（インドネシア国）

演題：①認知症の予防とリハビリテーション

②運動の効果と安静の害

③健康的な老後に向けた生活習慣

講師：①熊澤和秀（看護師）

②森山善文（運動療法士）

③ロスミン・イルハム（大学教授）

参加者数：800名程度

言語：日本語・インドネシア語（インドネシア語の通訳あり）

c. 講演会：エビデンスに基づくリハビリテーションと、多職種連携ケアによる健康的な高齢化の促進（R7.12/6）

主催：当法人

会場：国立ハサヌディン大学 講堂

演題：①インドネシアの認知症・MCI～現場で活かせる評価スケール～

②糖尿病と高血圧に対する運動療法－効果的な健康維持のための

運動の重要性ー

- ③リハビリテーションを含む多職種チームケア（MTC）の重要性
及び身体機能の回復を超えて／作業療法の役割
- ④研究から臨床への応用：構造方程式モデリングを活用した地域在住
高齢女性における転倒発生要因の特定

講師：①熊澤和秀（看護師）

②森山善文（運動療法士）

③矢部裕貴（大学職員）・飯田妙子（大学職員）

④リスカ ヌルアマリア（大学教授）

参加者数：150名程度

言語：日本語・インドネシア語（インドネシア語の通訳あり）

2. 各団体への協力依頼

普及活動に賛同していただける大学ならびに企業のご支援により、当法人の事業活動は円滑に推進された。

以上